

令和6年度 柏市緑政審議会 報告事項

あけぼの山公園 及び 柏市あけぼの山農業公園について



柏市都市部公園緑地課

本日の内容

1. 昨年度、ご報告したあけぼの山公園、柏市あけぼの山農業公園に関する検討状況について、ご報告します。
2. 審議会の委員の皆さまには、報告した内容について、以下の視点からご意見、ご感想を伺いたい。
 - ・ 柏市全体、県内・県外といった広い視点からみたあけぼの山に関するご意見(マクロ視点)
 - ・ 公園あるいは樹木、花・植物といった緑に関する視点からのご意見
 - ・ 今後のあけぼの山に関する期待

1. 検討状況の報告



①あけぼの山周辺地域懇談会を設置

あけぼの山の今後の方向性を検討するにあたり、学識、地域、農家、観光協会等のメンバーで、「あけぼの山周辺地域懇談会」を設置し、以下のとおり3回開催しました。

今回まとめた構想(案)は、懇談会において議論を重ね、整理してきたものになります。

なお、懇談会の委員からの意見を整理すると、
「1 デザインに関すること」、「2 サービスに関すること」、「3 マネジメントに関すること」の3つに集約されます。(6ページ以降で説明します。)

第1回 令和6年 8月30日 市から現状説明、以下の3点について意見交換を実施

- ・あけぼの山に対する感想や想い
- ・あけぼの山の魅力や強み
- ・あけぼの山の課題

第2回 令和6年12月17日 第1回の委員意見のまとめに対する追加意見の確認
目指す姿に対する意見交換を実施

第3回 令和7年 3月19日 第2回のまとめと構想(案)を提示し、意見交換を実施

	委員名	肩書等
座長	渡辺 均	千葉大学環境健康フィールド科学センターセンター長
副座長	棚野良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事
地元	涌井正幸	富勢地区ふるさと協議会 会長
	小柳 功	富勢地区ふるさと農園営農組合 組合長
農家	成島 孝	公園隣接農業従事者
	齋藤和夫	公園隣接農業従事者
有識	山口まり	柏市みどりの基金 評議員
	高松秀実	あけぼの山Trial Garden事業者
観光	杉浦清樹	柏市観光協会 副会長

②懇談会委員からの意見と目指す姿

① デザインに関すること

1 観光地としての魅力と認知度について

委員からの意見

- ▶ あけぼの山の魅力は、**風車と花畑、自然の豊かさ、布施弁天**などの歴史的資源であって、それが広域から多くの人を惹きつけている。
- ▶ 柏市の貴重な**観光資源として有効に活用すべきだが、十分ではなく、多くの人に認知される機会が不足**している。

多くの人が**花、自然を楽しみに来園**

1位 花や緑、自然を楽しんだ	69%
2位 写真撮影をした	33%
3位 イベントを見た・参加した	28%
4位 子どもを遊ばせた	24%
5位 のんびり休んだ	20%

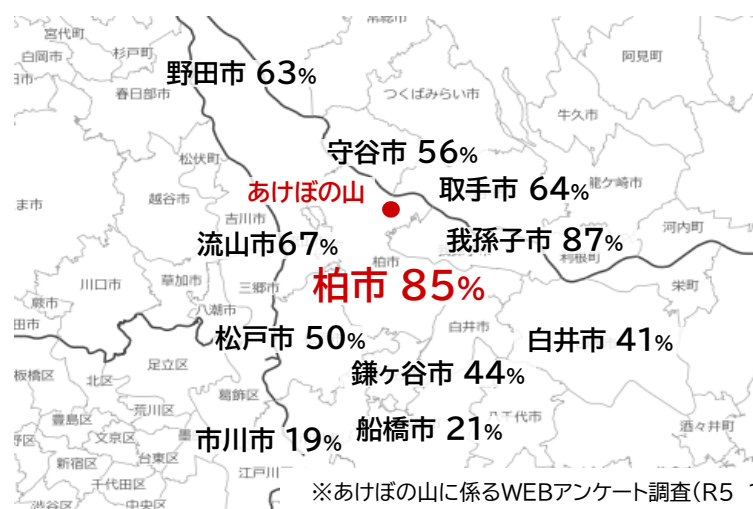
※公園利用実態調査(R5 市民2,523人)

来園者の期待は**風景・花畑の維持、強化**

1位 自然の風景維持してほしい	66%
2位 風車前の花畑の維持、強化してほしい	65%
3位 綺麗なトイレを提供してほしい	37%
4位 くつろげる空間の維持、強化してほしい	34%
5位 アスレチックなど遊び場を充実させてほしい	34%

※公園利用者・近隣住民に対するアンケート(R6 643人)

周辺市におけるあけぼの山の認知率は5～6割と低い



目指す姿

1 著名な観光地

『豊かな自然や美しい花畑、歴史資源の景観』が、多くの人を魅了し、柏市が誇る観光地となっている。

この公園や地域の強みである風車と花畑、自然の豊かさ、布施弁天などの歴史資源を「観光資源」として活かしていくために、プロモーションの強化など多くの人に認知される機会を創出し、行ってみたい公園となることを目指します。

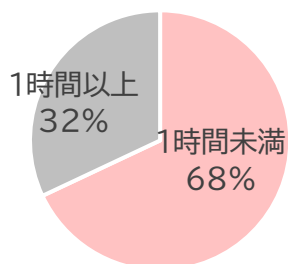
① デザインに関すること

2 滞在時間や来園者の年代について

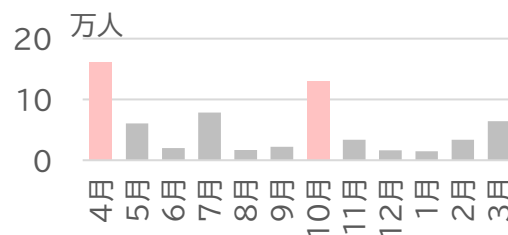
委員からの意見

- ▶ 花を見たらすぐ帰るなど、**花畑エリア以外の魅力が不足**している。本来**イベントがなくても来園する公園であるべき**であり、季節毎に花や植物などの見所が楽しめるなど、**滞在したい公園**となっていない。
- ▶ この公園が、子どもの心を育んだ大切な思い出の場所となり、**大人になっても自分の子供と来園**するような世代を超えて**子どもから大人まで愛される公園**づくりが必要である。

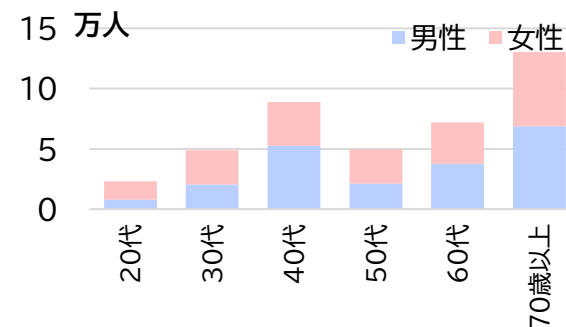
滞在時間 **1時間未満68%**



来園時期 **大きな偏り**



若者が少ない



※ 携帯位置情報からの推測値(20代以上のデータ)

目指す姿

2 世代を超えて愛される公園

世代を超えて、子や孫にも愛される場所となり、花や植物など一年を通して、一日楽しむことができる公園になっている。

花畑エリア以外に、花や植物と周遊路による見所を充実させ、一年を通じて、一日楽しむことができる公園を目指します。また、子どもの体験や学習につながる遊び場を充実させることで、この公園が子どもの頃の思い出の地となるとともに、自分の子供や孫とも来園したい、世代が変わっても来園したいと思われる公園を目指します。

① デザインに関すること

3 名称とデザインについて

委員からの意見

- ▶ 2つの公園の**名称が異なる**ため、例えばフラワーパークといった形で**誰もが認知する名称とコンセプトのもと、誘客することができていない**。
- ▶ 施設の分散や機能の配置など、**地域全体での空間デザインの構築ができていなく、回遊性や快適性の乏しい公園**である。

目指す姿

3 デザインされた公園

新たな将来像と名称のもと、地域全体を周遊でき、景観が記憶に残る魅力的な公園となっている。

二つの公園を一つの公園として統一し、このビジョンのもと、新たな公園名称を設定します。また、訪れた人が、この地域の歴史を感じながら、花や自然の風景あるいは飲食や売店、子どもの遊び場などを周遊して楽しみ、心地よく過ごすことができるように、地域全体につながりを感じられるデザインされた公園を目指します。

② サービスに関すること

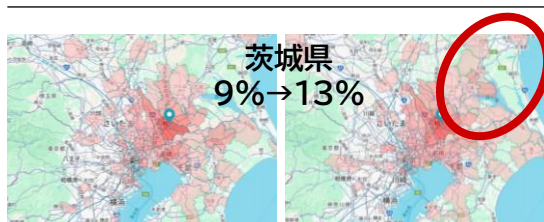
1 ソフト事業について

委員からの意見

- ▶ 既存施設が十分に活用されておらず、夜のイベントなど、**来園したいと思えるようなコンテンツの魅力に欠けている。**
- ▶ 八朔相撲や布施焼きなど、地域のイメージや特色を取り込んだ**地域連携による公園の魅力向上が十分でない。**

市制70周年記念事業イベント「あけフェス」を10月の1ヶ月間実施
あけぼの山でも、イベントの工夫次第で、様々な効果を発揮できるポテンシャルがあることを確認した。

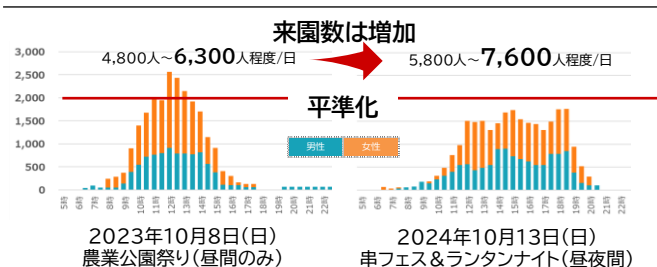
広域からの来園者増加



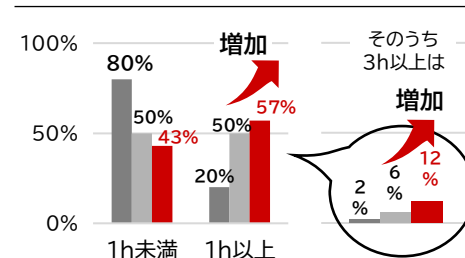
2023年10月

2024年10月

平準化より渋滞が減少



滞在時間が増加



- 2024年 4月21日 花の季節でイベントがない休日
- 2023年10月 8日 秋のお祭り(農業公園祭り)
- 2024年10月13日 秋のお祭り(串フェス&ランタンナイト)

※ 携帯位置情報からの推測値(20代以上のデータ)

ランタンナイトでは、若い世代の来園が増加（20代は倍増）

	増加	20代	増加	30代	増加	40代	50代	60代	70歳以上	合計
2023年10月平均		5%		12%		19%	14%	14%	36%	100%
2024年10月平均		4%		12%		20%	17%	15%	32%	100%
2024年10月13日串フェス&ランタンナイト	↑	9%	↑	15%	↑	23%	17%	12%	23%	100%

目指す姿

1 変化し続ける公園

施設の活用、地域連携、新たなチャレンジにより、魅力的な事業が展開され、公園が変化し続けている。

公園内の施設を活用しつつ、例えば、他にはないコンテンツを提供する、あるいは八朔相撲や布施焼といった地域コンテンツをとり入れた事業を展開する、季節ごとに園内や店舗を装飾するなど、様々なチャレンジを行い、来園者に新しい魅力を提供し続ける、変化し続ける公園を目指します。

② サービスに関すること

2 魅力的なサービス提供について

委員からの意見

- ▶ 公園の魅力向上にはアクセスと連動し、**魅力ある物販・飲食・情報・休憩所などが一体的に提供される施設が重要**であるが、現状の施設は分散、老朽化しており、**公園の魅力や利便性の低下を引き起こしている**。また、サッカー場については、そのあり方の見直しを求める声もある。

来園者に期待の高いサービスはカフェ

1位 軽食やカフェを充実してほしい	38%
2位 花や野菜など、売店を充実してほしい	26%
3位 イベントなどを強化してほしい	25%
4位 レストランなどを充実してほしい	24%
5位 スポーツを充実させてほしい	6%
6位 スタッフの接客力を向上させてほしい	5%
7位 市内や周辺の観光案内を充実してほしい	5%

※来園者、地域住民への調査(R6 636人)

目指す姿

2 魅力的なサービスが提供される公園

施設と機能が再編され、魅力的なサービスが提供される新たな施設が公園の顔として機能している。

新たな施設を設置し、魅力的な様々なサービスを提供する民間事業者を誘致し、布施弁天、風車と花畑に次ぐ、3つ目の魅力を創出します。またあわせて、サッカー場のあり方の検討や公園の方向性に合致しない施設の整理を進めます。

② サービスに関すること

3 公園と農業の関わりについて

委員からの意見

- ▶ 公園の魅力を高めつつ、多くの来園者によって農産物の消費拡大が進む、あるいは、来園者へ農業への理解の醸成を促すなど、**公園と農業の連携策が弱い**。
- ▶ 農業従事者の高齢化や後継者不足が進行しており、農業の存続危機や花畑の管理体制の**持続性に懸念**がある。一方、柏は新規就農ニーズが高いとの声もあり、農業の持続性を高める施策が必要である。

目指す姿

3 公園と農業の連携

公園の取組みと連携して、公園外の農地でも様々な取組みや挑戦があり、農業の持続性と地域経済の活性化が高まっている。

公園における農に関する情報発信など連携を進めます。また、富勢地区ふるさと農園営農組合とともに各農家の意向も踏まえながら、来園者向けのレジャー農業(市民農園、体験農園)や直売所などの方向性を整理します。

③ マネジメントに関すること

1 公園の区域について

委員からの意見

- ▶ どこが公園でどこが民地であるか分からないため、どこを歩いていいか分からず不安に感じるなど、**公園区域の不明確さが、園内の移動や回遊性の問題を引き起こしている。**
- ▶ **点在する公園区域は、計画的な公園整備、利用しやすい公園、良好な景観の創出、来園者の安全性といった様々な課題の解決にあたって阻害要因**となっている。

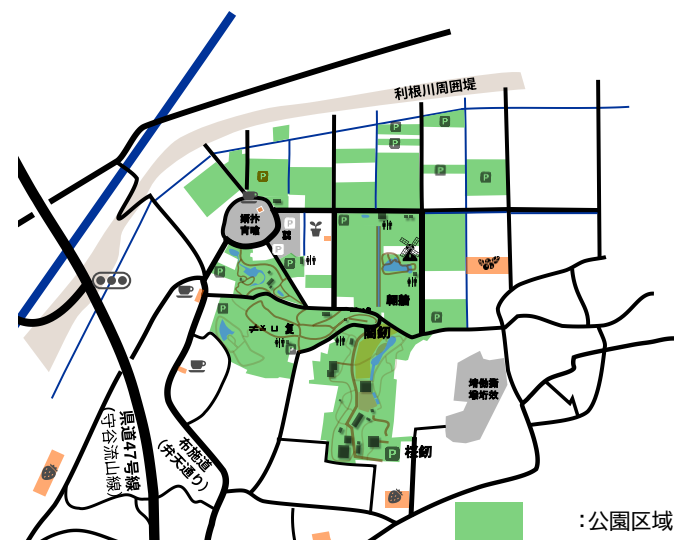
どこを歩いていいか分からない
人の土地なのか、公園なのか、
公園区域が不明確



農地や道路で分断される公園



農地や道路で分断される公園



目指す姿

1 エリア設定

公園区域が整理され、課題の解決が進み、多くの人を魅了する観光地となっている。

公園区域が点在し、パッチワーク状になっている土地の課題を解決するために、農用地の除外、公園区域への転換、市有地化などを進めます。この課題解決を進めることにより、車両と来園者の錯綜による安全性の問題、道路や土地によって分断されている公園として利活用のしにくさ、良好な景観の担保など、様々な課題をあわせて解決し、より持続的な公園運営を目指します。

③ マネジメントに関すること

2 持続可能な公園運営について

委員からの意見

- ▶ 管理負担は非常に大きい一方で、来園者が満足するクオリティをつくることが重要であり、**効率化や有料化により、草刈や植栽メンテナンスなど持続可能な体制の構築が必要**である。
- ▶ 持続可能な運営には、**市民や民間の力を活かすことが重要**である。また、市や地域関係者、学識者、指定管理者など、**様々な人が議論する場が必要**である。

あけぼの山の消費額は非常に小さい

あけぼの山	消費額
義務的支払い(入園料・駐車料)	0円/人
選択的支払い(飲食・物販等)	44円/人
	44円/人

- あけぼの山は収益という観点では、**コンテンツが少なく、魅力も弱い**
- 多くの人に足を運んでいただいているものの、**消費額が非常に小さい**

目指す姿

2 持続可能な公園運営

公園運営と経営の改善、多様な人が関わる公民連携などにより、持続的な公園運営が可能となっている。

来園者が気持ちよく、安全に過ごせる空間づくりを意識した公園運営を目指します。また、公園経営の観点においては、有料化などの運営で得られる収益を公園の魅力向上や維持管理に還元する仕組みについて検討を進めます。また、市民や企業などの多様な活動を受け入れ可能な土壌づくりを進めるほか、公園の魅力向上について議論・行動するプラットフォームを構築し、ビジョンの実現を目指します。

③ マネジメントに関すること

3 交通について

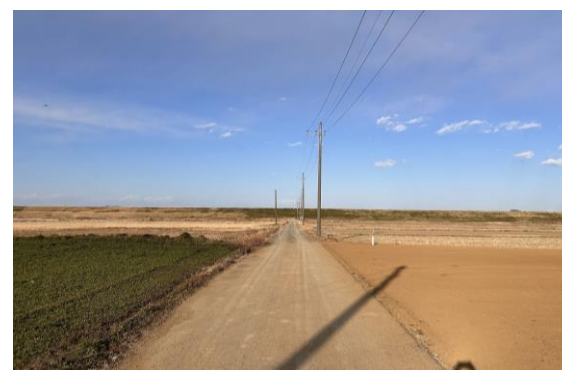
委員からの意見

- ▶ 来園者の多くが自動車を利用しているが、来園者にとっては、**公園に向かう際にあぜ道を通ることや道路が混雑していることに不安**がある。
- ▶ 駐車場が十分に足りていない、バスの受入れが不十分など、**道路と駐車場の課題**がある。この課題解決に対する地域の期待は非常に大きい。

春は大渋滞が発生



すれ違いが困難なあぜ道



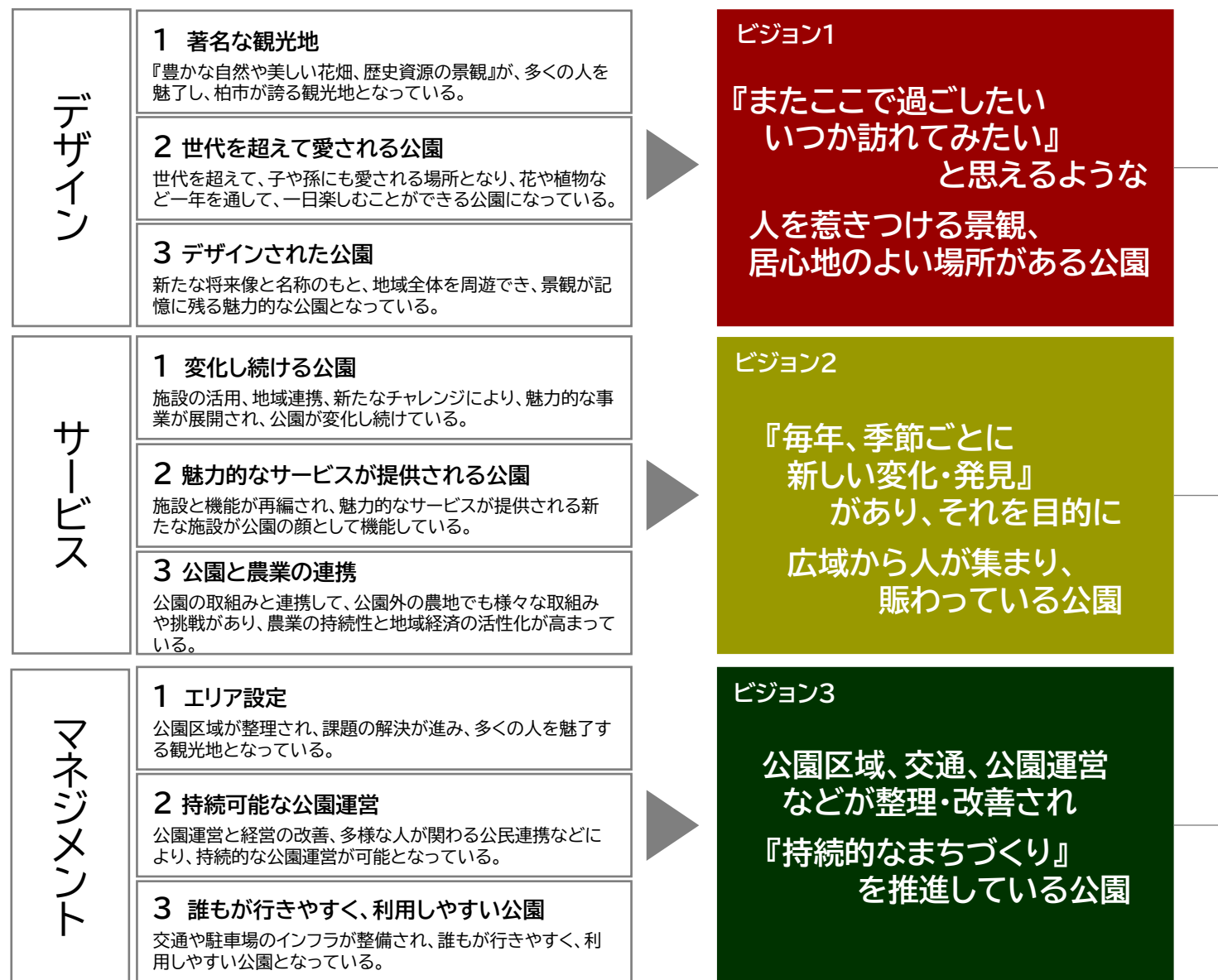
目指す姿

3 誰もが行きやすく、利用しやすい公園

交通や駐車場のインフラが整備され、誰もが行きやすく、利用しやすい公園となっている。

来園者が迷うことなく公園に到着できる必要があること、また本公園が千葉県緊急消防援助隊受援計画における活動拠点に位置付けられていることから、災害時は緊急消防援助隊が容易に通行でき円滑に活動できるよう「新たなアクセス道路」の整備を進めます。あわせて、多くの来園者を迎え入れることが可能な駐車場も一体的に整備します。

目指す姿(ビジョン)のまとめ



市民の豊かな生活の実現

この公園が、市民(来園者)にとって、大切なひとときを過ごす場所であり、幸せを感じ(安らぎやワクワク感)、日々の活力を得ることができる場所となる

③具体的な事業とスケジュール(案)

行動計画1(ActionPlan1 DESIGN)

『またここで過ごしたい いつか訪れてみたい』と思えるような人を惹きつける景観、居心地のよい場所がある公園

1 著名な観光地

『豊かな自然や美しい花畑、歴史資源の景観』が、多くの人を魅了し、柏市が誇る観光地となっている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策1	フラワーセレクション等の開催	TrialGardenを発展させ、日本全国の育種家、種苗会社等花き業界と連携した発信力のある企画を実施する。	柏市・指定管理者等	令和7-11年度	令和9年度
施策2	プロモーション強化	ロケ誘致も含む、あらゆる広告媒体による情報発信やイベント等への出展等も行いながら、積極的に認知される機会を増やしていく。	指定管理者・柏市	令和7-11年度	令和11年度

2 世代を超えて愛される公園

世代を超えて、子や孫にも愛される場所となり、花や植物など一年を通して、一日楽しむことができる公園になっている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策3	花などの見所の充実	花畑以外のエリアでもバラやナチュラリストックガーデンといった花や植物、あるいは春や秋以外において、水中花壇、花手水、イルミネーションといった見所、フォトスポットの充実を図る。	柏市・指定管理者・営農組合・民間等	令和7-11年度	令和11年度
施策4	子どもの遊び場の充実	子どもに人気の高い遊具施設を設置するとともに、親子で自由に外遊び可能なスペースなど空間の充実を図る。	柏市(指定管理者)	令和8-10年度	令和10年度

3 デザインされた公園

新たな将来像と名称のもと、地域全体を周遊でき、記憶に残る魅力的な公園となっている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策5	名称の統一	将来像に基づき、新たな名称を設定する。	柏市	令和9-10年度	令和10年度
施策6	ランドスケープ計画の策定	ゾーニング基本方針(資料編)やニーズに基づき、専門家により植栽、動線、建築、サイン、照明、遊び場等の公園区域全体の空間デザインを検討する。	柏市	令和7-8年度	令和8年度
施策7	公園リニューアル	2つの公園をつなぐ周遊路整備や高質化など、花畑周辺の施設の再整備を行う。	柏市	令和8-10年度	令和10年度

行動計画2（ActionPlan2 SERVICE）

『毎年、季節ごとに新しい変化・発見がある』それを目的に広域から人が集まり、賑わっている公園

1 変化し続ける公園

施設の活用、地域連携、新たなチャレンジにより、魅力的な事業が展開され、公園が変化し続けている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策8	ソフト事業の魅力強化	ランタンナイトや定番から珍しい植物が勢揃いするマルシェなど特色あるイベント、誰かと特定の時間を共に楽しむ体験コンテンツ、ポップアップ店舗など、魅力あるコンテンツを提供する。	指定管理者 (柏市)	令和7-11年度	令和11年度
施策9	地域連携の強化	八朔相撲や布施焼など、地域のコンテンツを活かした事業を展開し、公園の魅力向上を図る。	指定管理者 (柏市)	令和7-11年度	令和11年度

2 魅力的なサービスが提供される公園

施設と機能が再編され、魅力的な民間サービスが提供される新たな施設が公園の顔として機能している。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策10	民間連携による施設整備	民間事業者の活力を活かし、例えば食・買・休・宿などのサービスを提供する新たな施設を整備する。	柏市・民間事業者	令和10-16年度	令和16年度
施策11	既存施設の整理	既存施設の統合、施設自体の必要性も含めて、方向性の整理を行う。	柏市	令和7-8年度	令和8年度

3 公園と農業の連携

公園の取組みと連携して、公園外の農地でも様々な取組みや挑戦があり、農業の持続性と地域経済の活性化が高まっている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策12	農業との連携	公園におけるイベント連携、情報発信、売店での青果販売など、農業との連携を検討し、進める。	指定管理者 (柏市)	令和7-16年度	令和16年度
施策13	レジャー農業等の検討	来園者向けのレジャー農業(市民農園、体験農園)や直売所などについて、営農組合とともに、今後を検討する。	柏市・営農組合 + 農家	令和7-8年度	令和8年度

行動計画3(ActionPlan3 MANAGEMENT)

公園区域、交通、公園運営などが整理・改善し、『持続可能なまちづくり』を推進している公園

1 エリア設定

公園区域が設定され、課題の解決が進み、多くの人を魅了する観光地となっている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策14	公園区域の設定	公園区域の外縁を整理し、設定する。都市計画公園への指定、農用地の除外、都市公園への転換など、各種法的手続きを進める。	柏市	令和7-9年度	令和9年度

2 持続可能な公園運営

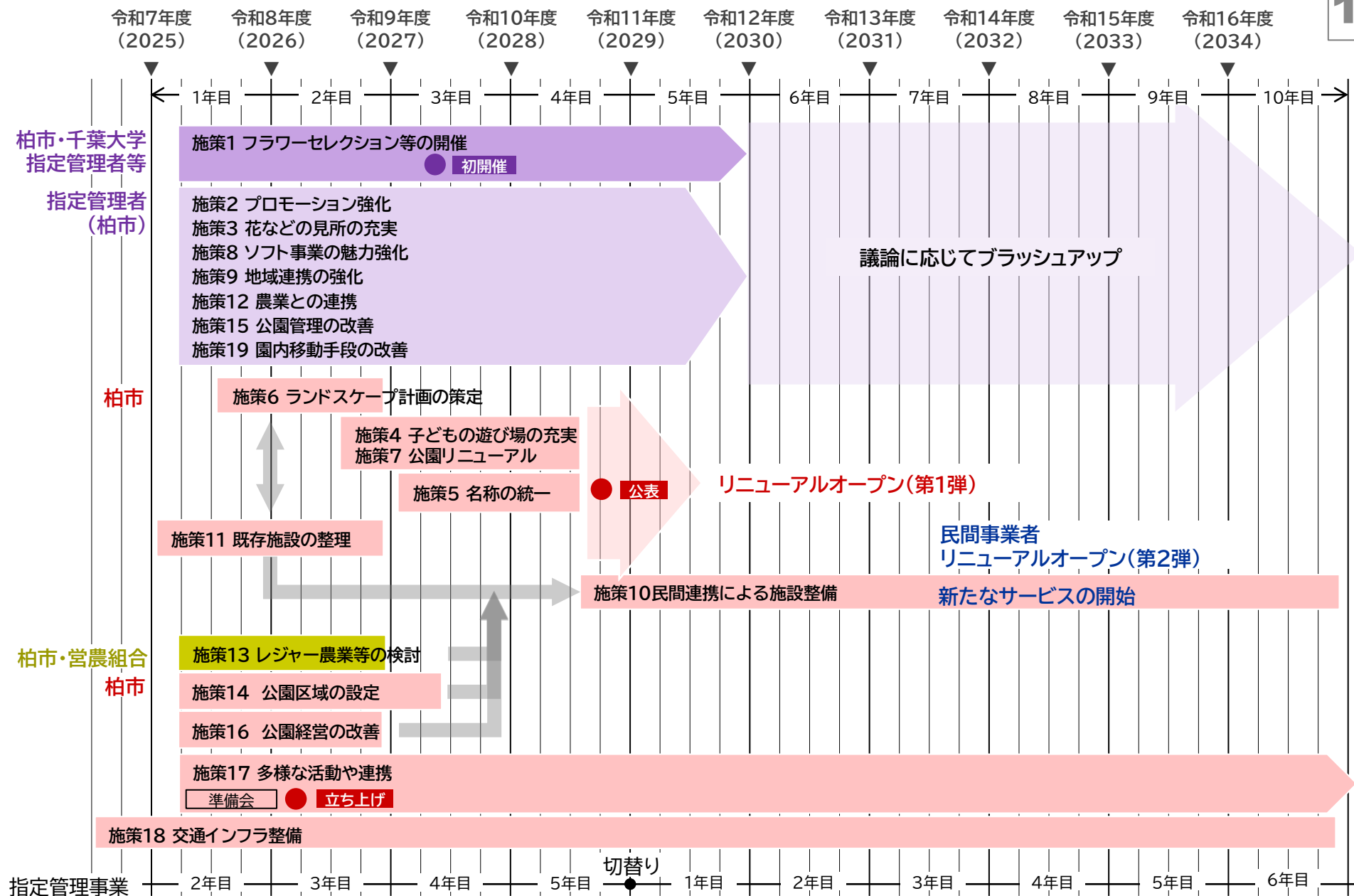
公園運営と経営の改善、多様な人が関わる公民連携などにより、持続的な公園運営が可能となっている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策15	公園管理の改善	来園者が、安全に気持ちよく過ごせるよう、維持管理体制を整え、日常管理を行う。	指定管理者 (柏市)	令和7-11年度	令和11年度
施策16	公園経営の改善	施策10と連動し、公園運営によって得られる収益を公園の魅力向上に還元する仕組みを検討する。	柏市	令和7-9年度	令和9年度
施策17	多様な活動や連携	市民や民間と連携し、公園サポーターを育成する。柏市、営農組合、千葉大学、有識者、地域、指定管理者などが議論し、活動するプラットフォームを設置する。令和7年度は準備会を立ち上げる。	柏市	令和7-16年度	令和8年度

3 誰もが行きやすく、利用しやすい公園

公共交通や駐車場のインフラが整備され、誰もが行きやすく、利用しやすい公園となっている。

No.	施策名	内容	事業主体者	事業期間	目標年次
施策18	交通インフラ整備	渋滞緩和、利便性向上のため、アクセス道路と駐車場を整備する。	柏市	令和6-16年度	令和16年度
施策19	園内移動手段の改善	駐車場から公園の各エリアまで、障害の有無や年齢に関わらず、誰でも移動がしやすくなる手段を検討し、改善する。	柏市	令和7年度	令和7年度



伺いたいご意見やご感想

- 柏市全体、県内・県外といった広い視点からみたあけぼの山に関するご意見(マクロ視点)
- 公園あるいは樹木、花・植物といった緑に関する視点からのご意見
- 今後のあけぼの山に関する期待